

20 陳情第 1 号
平成 20 年 4 月 17 日

学校図書館を考える会ねりま・よりよい練馬区の図書館をつくる会・
ねりま地域文庫読書サークル連絡会 陳情のための連合
代表者 関日奈子 様

練馬区教育委員会
委員長 加藤 一 夫



(仮称) 南田中図書館への指定管理者導入についての陳情書 (回答)

平成 20 年 3 月 13 日付で受理しました標記の陳情について、下記のとおり回答します。

記

1 回答

陳情要旨 1 不採択

(理由)

「学校支援モデル事業」につきましては、民間企業の柔軟な人員配置を活用することでより効果的な運営体制が図れると考えており、区の委託化・民営化方針に基づき、指定管理者制度を活用して実施することが適切であると判断しました。

(仮称) 南田中図書館において指定管理者を導入し、「学校支援モデル事業」を実施することは区としての新しい取り組みでありますので、利用者の声を十分に反映しながら検討を進め、学校と指定管理者との連携がスムーズに行われるよう、教育委員会として責任を持って支援してまいります。

また、指定管理者が行う図書館の様々な業務については、特に利用者の皆様へのサービスを最優先事項とするとともに、図書館および学校図書館の知識や専門性を求め、適切な人材を確保できる指定管理者を選定してまいります。

以上から、陳情者のご懸念には及ばないと考えますので、この陳情要旨につきましては不採択とさせていただきます。

陳情要旨 2 不採択

(理由)

区では、利用者の皆様のご意見を伺う場として「館長との懇談会」や「建設懇談会」、「子ども読書活動推進会議」などを開催しているほか、日常的に窓口などでも多くのご意見をいただいております。

今後も、既存のこれらの会議等を活用し、課題に応じて開催回数を増やすなど柔軟に対応しながら、より一層サービス向上に努めていきたいと考えております。

したがって、図書館協議会または図書館運営協議会を新たに設置する考えはなく、この陳情要旨につきましては不採択とさせていただきます。